

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [秋田県立羽後高等学校] 担当教諭名 [阿部 大輔] (有志 10名)

相手国・地域 [マレーシア]

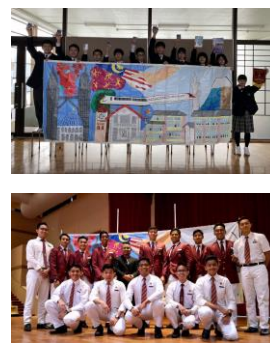
海外学校名 [The Malay College Kuala Kangsar] 担当教諭名 [Rosman Fitri B. Hamzah / Aisah Bt Baharin]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	課外活動	マレーシア・日本についての学習	5
	課外活動	SDGs学習と表現したい思い	15
	課外活動	思いの共有と壁画制作	15

■作品に込めた思いについて教えてください。

題 (テーマ)	全世代が協力して取り組むコミュニティを目指して
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	我々は、各国・各地域で様々な課題を抱えている。(例)医療、大気汚染、福祉、高齢化、温暖化、プラゴミ、格差社会、空き家問題、雪害など。自分事としてとらえて一緒に協力していくことが重要である。 ⇒「全世代が協力して取り組むコミュニティ」づくりを強調したい!!



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
他者の立場になって考える、どのようにすれば伝わりやすいのか、英語スキルを向上させたいなど生徒の内面の変化を感じることができた。また、海外と協力・協働することの難しさを感じながら進めていたが、完成作品を観て、「ものすごい達成感と感動を感じた」など大きな手応えをつかんでいた。	思いを共有する際に相手国とのコンタクトがなかなか取れなかった。そのため、デザイン構成に十分な時間をとることができなかった。そのため、「日本らしさや建物などに立体感を出せなかった」、「もっと鮮やかな色や絵に工夫を入れれば面白くなったと感じられた」などの感想があった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
多様な価値観や考え方を共有することで、EQの向上が感じられた。また、他国と関わることで、日本や自分の住んでいる地域について知ることにも繋がった。さらには、特別活動等に消極的だった生徒が、様々な場面で積極的に関わろうとしたり、上級生に対しての関わり方について学んだり大きな変容の見られた生徒もいた。	海外との連絡調整は難しかったが、「まずやってみよう」「自分はこういうことができる」など何事にもポジティブに取り組むマインドや自身の考えをしっかりとつ他国の学生を見て、今の日本の教育の中で遅れている部分を感じることができた。ポジティブなマインドや自分の考えを持つ姿勢などを拡散するために、様々な仕掛けていきたいと感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 8月	・自己紹介動画をそれぞれ撮影し、お互いの国や地域についても紹介。 ・ZOOM アプリで接続し、挨拶や次の接続などを確認。	・ZOOM アプリで顔を合わせながら接続できた時は、お互いのつながりを感じ、喜びで一杯だった。プロジェクトに対するモチベーションも向上した。	課外活動
共有 テーマ学習	5月 ～ 9月	・学習するSDGs3番と11番について慶應義塾大学生と一緒にWSを実施しながら理解を深めた。 ・「SDGsアイデアブック」の英訳プロジェクトに参加し、理解を深めた。	・大学生とWSを通して学ぶことでSDGs3番と11番に対する理解も深まり、提示したい想いやデザイン案の具現化にも繋がった。新しい視点に気づき、喜んでいる生徒もいた。	課外活動
融合 メッセージ作成	11月	・ZOOM アプリで接続し、それぞれ描きたい想いとデザイン案を共有。 ・Telegram アプリも活用しながらお互いにお願したいことなどを確認。	・なかなか相手国と連絡がとれず焦りをみせていた生徒達であったが、想いやデザインを共有してからは、モチベーションも回復し、積極的にアイデアを出しながら取り組んでいた。	課外活動
創造 壁画制作	12月	・共有した想いを色合いや意味合いを込めて制作。	・十分な時間を確保できなかったが、モチベーションが高まっており、積極的に、アイデアを出し、色合いも考えながら取りくんだ。	課外活動
評価 振り返り 自己評価	2月	・届いた作品をもとに振り返りシートを活用して、作品を鑑賞。	・融合と創造の時間が足りず、物足りない想いをした生徒もいたが、ほとんどの生徒が取り組みに満足し、達成感で満たされていた。	課外活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	異文化の方々に伝えるために、日本のこと、地域のことなどを調べたり興味をもったりするきっかけになっていた。
異文化を理解する力	3	連絡調整がなかなかつかなかったこともあり、相手国の文化についてはインターネットからの情報しか集められなかった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	情報収集や段取りは基本的に教員の方で組むことが多く、生徒達の情報活用能力に大きな貢献はできなかった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	伝える事はできたと思うが、リスニングには苦戦した。通訳に手伝ってもらいながら、想いの共有はできた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	想いを共有する中でのディスカッションで様々な視点で議論することができ、納得解を示すことにも繋がった。
主体的に考え行動する力	5	個人差はあるが、今回の経験が、日々の生活を活気づかせていると捉えている生徒もおり、良い経験・良い機会になった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	相手国と想いを共有させたり、グループで連絡調整したりと協働することの難しさを感じていたが、その困難を乗り越えようと工夫が見られた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	時間が無い中でも、ディスカッションやミーティングを通して、表現する経験をし、納得解を提示することができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	作品の鑑賞時間をあまりとることができず、各自でシートを基に振り返った。対話しながらの振り返りができなかったことが悔やまれる。